

幼稚園令の公布

倉橋惣三

幼稚園令が公布せられた。大正十五年四月二十一日、我國は初めて幼稚園令をもつことが出來たのである。欣喜措く處を知らぬ。

幼稚園令の制定は、狭く幼稚園界の喜びたるに止まらない。我が國民教育の一貫せる完成に向つて、學齡前の一系列が確立せられたのである。すなはち、此の幼稚園令が完成に徹底せらるゝの日に於ては、我國民教育は、まさしく、學齡下三ヶ年の延長を見得るものである。苟も幼稚園令が制定せられた以上、その期する處、必ずや此の大望の實現にあらざるなきを得ない。實に、幼稚園令の制定は、幼稚園を其の個々の内容に於て充實するものであると共に、普く我國學齡前幼兒の全體に對して、正しき教養の効果を布かんとする大教育令の制定である。

而して、新幼稚園令は、從來の幼稚園に對して、二つの大いなる改正を加へてゐる。第一は、其の社會的職能の自覺であり、第二は、其の教育的職能の高上である。文部大臣の訓令に於て明かなる如く、幼稚園普及發達の急務を現代の社會的必要に向つて基礎づけられてゐるのは、從來の幼稚園が、稍もすれば社會一部の悠閑なる教育的贅澤物視せられたのに對して、明確なる態度を表示したものである。又

保姆の資格を尋常小學校本科正教員程度以上と定められたことは、從來の不徹底なる低き標準に比して幼稚園のもつべき教育的眞價を、國民教育の進據に於て、極めて明瞭に表示したものである。普及に於ては、社會的に低きに及ばしめ、充實に於ては、教育的に高きに進ましめたのである。此の點を兩々相並べて深思する時、新幼稚園令の妙味盡きざるものがあるのである。その福祉を享くるものは、幼兒である。家庭である。その教育を繼承する小學校である。其の齎らすところの大きいなる結果は、實に國民生活全體の上である。

令の内容詳細なる研究に就ては、之れを後に譲る。吾人は今日、公布そのことに於て、先づ滿腔の喜びを叫ばんとするのであるが、此の喜びと共に是非とも忘れてならない處の一事がある。他なし、幼稚園令制定の今日のために、長く久しく熱心なる主張と活動とをつゞけられた、多くの先輩の誠意である。その長い活動の歴史は、比較的に古き我國の幼稚園史の殆んど全部に亘るといつてもいゝかも知れない。その中には、今も尙ほ幼稚園教育界の先人として活動をつゞけてゐる人も多くある。また、今日は幼稚園界から關係を離れてゐる人も多くある。また、遺憾ながら、既に永逝して、親しく此の公布の喜びを告げ得ざる人も多くある。吾人は茲に、幼稚園令制定の勞と功績とに就き、先づ、現文部當局に對して深甚なる敬意を表すると共に、併せて、之れ等先人の徳を偲びて、之れを永久に記念せんとするものである。(昨日は恰かもフレーベルの第三百三十四回の誕生日であつた。われ等は幼稚園の一室に相集ひて、先生の生涯を記念すると共に、此の日を以て、幼稚園令が公布せらるゝことの、誠に恰好の日なることを喜び祝したのであつた。翌二十二日誌す。)